

10/3 木曜

憲法生かして生活守れ



「憲法変えるな憲法生かせ」とスローガンする若者たち
10月、東京都新宿区

「お祭りって平和を続けよう」などのプラカードを掲げました。

さいたま市に住む高校2年生、荒木陽永さん(17)は、夏の参院選で改憲勢力が増えたことに危機感をもつていると語ります。「こんな感じで、私たちが外で声をあげないといけないと思ってデモにきました。憲法を変えさせないために行動していくます」

神奈川県座間市に住む徳永有さん(26)は、平和の思想や、岸田政権について感じていることをアピールしたいとデモに参加。「物価高騰などで国民が苦しんでいるのに、まともな対策もせず改憲や大軍拡を狙う政治そのものを変えたい」と話しました。

同実行委員会の事務局を務める中山歩美さん(民青副委員長)は、「初めてデモに参加したと話す青年が来てくれるなど、大きくアピールできました。高学費や最低賃金の問題など、憲法を生かしてこそ青年の命と生活を守れるという発信を強めていかねば」と語りました。

若者がデモ

東京・新宿

岸田政権による改憲の動きに対応し、憲法を生かしや金利連鎖部などづくりて青年の命と生活を守るる若者憲法集会実行委員会

と訴えたデモが2日、東京都新宿区で行われました。日本民主青年同盟(民青)は、全国連青年部などづくりて青年が集まり、デモは、同実行委員会が呼びかけで200人(主催者発表)が参加し、「政府は国民の声を聞け」と声をあげました。

デモは、同実行委員会が改憲に反対する青年の世論を広げようと取り組んだ全国いっせい行動のひとつとして開催しました。首都圏を中心に青年が